



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月12日

上場会社名 株式会社高見沢サイバネティックス 上場取引所 JQ  
 コード番号 6424 URL <http://www.tacy.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 広田 和資 (TEL) 03-3227-3361  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,134	△10.2	△326	-	△343	-	△263	-
22年3月期第1四半期	1,263	△41.0	△500	-	△516	-	△410	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△29	31	-	-
22年3月期第1四半期	△45	66	-	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	9,556	825	825	825	8.6	91	79	
22年3月期	10,693	1,114	1,114	1,114	10.4	123	87	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 825百万円 22年3月期 1,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-	0	00	-	0	00
23年3月期	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	0	00	-	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	3,200	△0.0	△430	-	△480	-	△350	-	△38	92
通期	10,300	5.6	330	40.3	210	32.8	260	90.1	28	91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	9,050,000株	22年3月期	9,050,000株
23年3月期1Q	56,310株	22年3月期	56,310株
23年3月期1Q	8,993,690株	22年3月期1Q	8,994,030株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	5

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府の緊急経済対策等の効果により企業収益は改善する傾向にあるものの、失業率は依然として高水準で推移するなど厳しい状況が続きました。

このような経済環境のもとで、当連結グループは、交通システム機器部門・メカトロ機器部門・特機システム機器部門において営業活動を展開してまいりました。その結果、交通システム機器部門においては、前年同四半期と比べ売上高は微増となりました。メカトロ機器部門においては、海外向け各種ユニット製品の輸出が減少したことにより、前年同四半期と比べ売上高は減少しました。特機システム機器部門においては、セキュリティシステムの売上げが増加したものの、パーキングシステムの売上げが減少したことにより、前年同四半期と比べ売上高はほぼ同等で推移しました。

以上により、当第1四半期連結会計期間の売上高は11億3千4百万円（前年同四半期比10.2%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少はありましたが、徹底した経費の圧縮・原価の低減に取り組んだことにより、営業損失は3億2千6百万円（前年同四半期は5億円の損失）、経常損失は3億4千3百万円（同5億1千6百万円の損失）、四半期純損失は2億6千3百万円（同4億1千万円の損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は95億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億3千7百万円減少致しました。これは主に受取手形及び売掛金の減少19億9千4百万円、仕掛品の増加5億2百万円、商品及び製品の増加1億5千6百万円等によるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は87億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千8百万円減少致しました。これは主に支払手形及び買掛金の減少3億4百万円、短期借入金の減少4億3千4百万円等によるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は8億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千8百万円減少致しました。これは利益剰余金の減少2億6千3百万円、評価・換算差額等の減少2千4百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期予想につきましては、平成22年5月14日の決算短信で発表しました業績予想からの変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

#### ② 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産「その他」として繰り延べております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計処理の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

#### ② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,436,757	1,380,448
受取手形及び売掛金	2,190,116	4,184,450
商品及び製品	634,794	478,348
仕掛品	1,202,548	699,691
原材料及び貯蔵品	694,636	637,421
その他	471,293	287,948
流動資産合計	6,630,146	7,668,308
固定資産		
有形固定資産	2,128,740	2,164,156
無形固定資産	107,628	113,644
投資その他の資産	689,644	747,210
固定資産合計	2,926,013	3,025,012
資産合計	9,556,159	10,693,320
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,677,736	1,982,189
短期借入金	3,628,500	4,062,500
未払法人税等	4,295	16,069
賞与引当金	143,027	101,107
その他	450,139	545,038
流動負債合計	5,903,699	6,706,905
固定負債		
退職給付引当金	2,262,491	2,306,881
役員退職慰労引当金	104,167	105,186
資産除去債務	20,009	—
その他	440,230	460,324
固定負債合計	2,826,897	2,872,391
負債合計	8,730,597	9,579,297
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,700	700,700
資本剰余金	722,424	722,424
利益剰余金	△555,113	△291,499
自己株式	△41,021	△41,021
株主資本合計	826,989	1,090,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,427	23,419
評価・換算差額等合計	△1,427	23,419
純資産合計	825,562	1,114,023
負債純資産合計	9,556,159	10,693,320

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,263,007	1,134,390
売上原価	1,212,392	954,903
売上総利益	50,614	179,487
販売費及び一般管理費	551,432	506,288
営業損失(△)	△500,817	△326,801
営業外収益		
受取利息	185	32
受取配当金	3,801	3,838
不動産賃貸料	2,095	2,548
その他	2,738	4,629
営業外収益合計	8,820	11,048
営業外費用		
支払利息	22,699	23,505
その他	2,044	3,765
営業外費用合計	24,744	27,271
経常損失(△)	△516,741	△343,023
特別損失		
投資有価証券評価損	—	25,782
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	7,983
特別損失合計	—	33,765
税金等調整前四半期純損失(△)	△516,741	△376,789
法人税、住民税及び事業税	2,807	2,787
法人税等調整額	△108,838	△115,962
法人税等合計	△106,030	△113,174
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△263,614
四半期純損失(△)	△410,710	△263,614

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。